

CATALOGACIÓN: Álbum de grabados nº6

Signatura: J-A/18

Artista principal: TOYOHARA KUNICHIKA, UTAGAWA KUNISADA II, UTAGAWA YOSHIKU, UTAGAWA KUNITERU

Fechas: c.1865-1867

Tema principal:

- Teatro Kabuki: *Shibai-e* (Escenas teatrales)
- Teatro Kabuki: *Yakusha* (Actores)
- Teatro Kabuki: *Kôjo* (Anuncios de los actores)
- *Sumô-e* (Lucha japonesa)

Nº de estampas: 119

J-A
18

J-A
18



一好
 芳
 轍





天照大神

一頁
芳後筆

全安校

豊豆饒御蔭参之圖

今年諸國旱魃にして雨多なし八十餘日庶民艱苦ふ沈むりあり伊勢の神社と始し八百鈔諸神を祈禱すも雨もつとらぬ切もしうおとら鏡信の影正しく之ふ向ひて天へて写るの理り白露の露みたるよりおとら天へて五つおとら生物地豊饒かゝる例とき久松氏枝後之雷の声皇御神の納受わくは数内東海之三道金やう花園に御被をさしぬらさるたにあらあきせん雲を以ておとら折柄人信心肝ためし自己きたぬと鏡信を疑ひた時の群集云討はし話に各四の道よりめぐらん信がりとあら富者たり粟が奴僕亦云合をせぬらさるありとて暗の衣服をさるるへて主人のつとめありては困是とをわらう其夜つと大まきさうは枝根と傳來て土庫に突らしめりもあきさしもの土屋をまらこはに打碎あら主人も然に先能と傳は家族を事へて是傍をまらと説き方り候とせりわくくあらは彼の障く云も弥上と出高詰るお買の真下こころ若死なれば伊勢へ赴き氏必を内外か皇神を奉りて奉らるおとらおとらおとら家より老若もいおんをこせらるるん

慶應三
卯季秋
山亭有人聞記



五月山

小柳

伊勢海

彫長

利
両
大
平
板

曜
齋
國
輝
守



横綱土俵入之圖



鬼面谷五郎

一畑齋
國輝

玉垣

呼出之小者兵衛



行司木村庄之助

一霍齊
國輝五
彫長
本両國
大平坂

傍心 五十回帖 三



李
園
筆



舞天 五十四帖 三



Handwritten Japanese text in cursive style, likely a dedication or poem, located within the upper frame.

Small red seal or signature mark located below the fire illustration.



Vertical text on the left side of the illustration, possibly a signature or title.

Small vertical text or seal in the bottom right corner of the illustration area.

傍公心 五十回 拾三

初音



Handwritten Japanese calligraphy in a decorative frame, including the characters '初音' and '松竹梅'.

李紫樓園主人筆



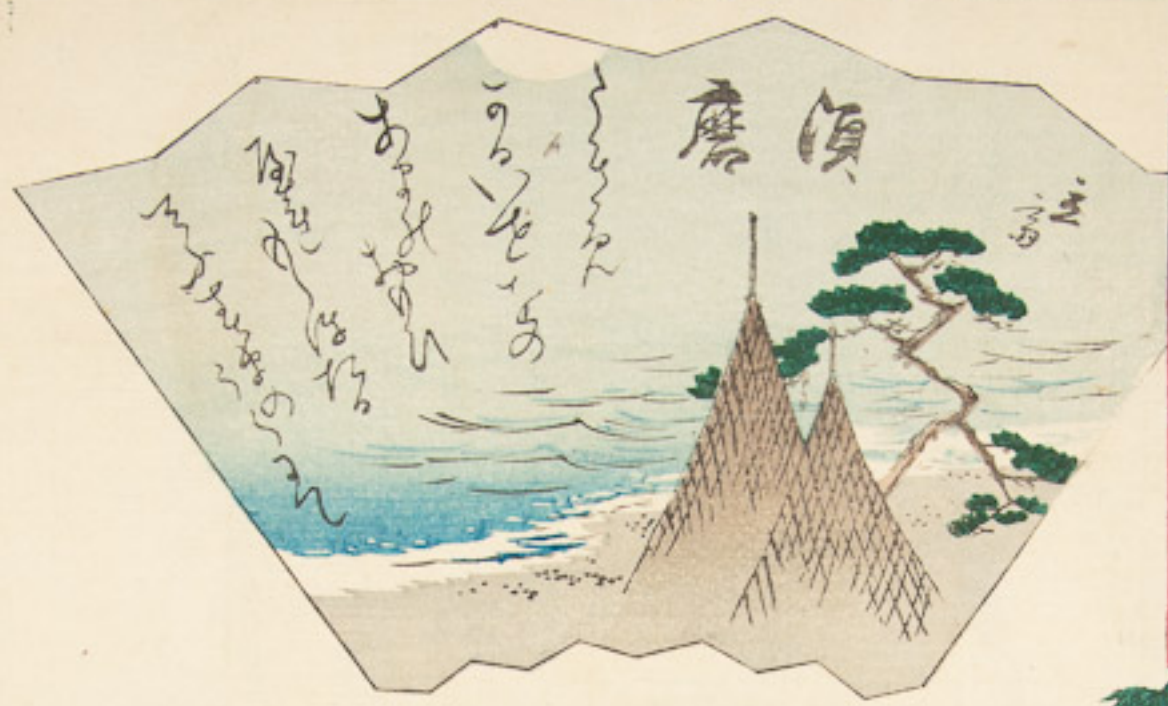
Small vertical text at the bottom right corner, likely a signature or publisher's mark.



第五十四帖
 壬



李紫樓
 國分筆



須磨の松
 須磨の松
 須磨の松



須磨の松
 須磨の松
 須磨の松

雪若梅

そで乃香

彫
合
之
殿
谷
相
卜





小籠

國久

谷相

加門らき
梅の如き

加門らき

加門らき

谷相上

加門らき





當世好舞

あはれ

梅

あはれ

李葉橋
岡月筆
元田徳長



徳

李雲揚

國長

國長筆

石田

國長



Red fan with calligraphy: 梅の香は 春の風を 吹かす

White fan with calligraphy: 梅の香は 春の風を 吹かす

Red seal: 國貞

Red seal: 國貞

李傑揚

國貞筆

元田彫長

Red seal: 國貞



當世好談

五月廿二日

國友堂

五月廿二日

國友堂

尾田彫長

國友堂

唐土
の
きりの
おし
鏡

市
杵
杵

四代目家禰の
先考の二世佐の川市
松平三世の國後
父荒五郎の
由縁とりてふたひ
四代目の名を継ぎて
三河屋の枝葉にて
松平三世の御子と
ともくみ希のり

四代目
家禰

清
の
お
お

お
お
お

け
の
の

お
お
お

四代目
家禰

お
お

國
吉
安

彫
大

お
お





江戸名勝會
魚丸餅

○ 青舞姫 蓮華 養子
王舎城



白金

蛇の目
赤桐
○ そのむじしは地を金うもえ住て
しるはれをほろけし地を
おし、ええええ
止清公は地を金うもえ住て

万國仁義



白金清正公萬浦勝守

○ 養子大軒
又檢者中門て
あつたはくは地は
きとん、あつた
明安はるあ次
大岡久り、あつた
一、あつたあつた
あつたあつた
あつたあつた



江戸の

加藤清

姪 於 熊

市 村 羽 左 工 門



印

國 傳 筆

正文堂

畔倉重四郎

河原崎權十郎

國司筆



る
誠忠義士銘々傳



早野 三平



國司 華一
固 三平

い
誠忠義士銘々傳

大星由良之捕



固きまつ
華

ほ誠忠義士銘之傳



大星由良之助



國吉(吉)筆

国吉のつ

舞臺名伶



國司筆

松嶋彰政

全海老林

金時小僧力三



海老林

松嶋影政

吉筆



天狗小僧霧太

繪

國吉筆

松嶋政

海老林

牛若山僧傳次



海老林

松嶋彫政

國貞筆

夏島色野の雲流

流雲僧多郎



國司筆

松嶋彫政

海老原

市村家橋

國司重
賢河彫初



照月五人男 兩國之図

神なきにわかれ
訂りもたのし
まうひ福来
くも吉三
とほも訂三
ニてうろこ
風のももも通
お線

澤村訥升

中村芝翫

國司玄
賢川彫初



當盛五歌妓

和歌
櫻若丸
一ふ市川二ふ花巴三ふ三升
四ふ四方升やまぐ九代目つづ
との連中か控十節よらんを
よみれと自せんその名おち
よ



よみおち

かごふ巴二巻

國貞

彫長

灸

金寿のおま吉

當盛五歌妓

ぬむ
五
さたるみそ
浪花のうらみ
香もたつと
紙圍ちの竹をけ
むさふ四ツいのけう
こぼれちるまきこま



船頭志の辰

國分

元田彫長

交

當盛五歌妓

けんごんのおほる

夕これ
つるあつむらじり
ゆりそけへ一筆拵
ほよふきおのそ
中身おほみや
又うけとゆもあらう
おふりまがゆ
ゆりまの渡者
まごころ
まごころ

男藝者新左



國貞
彫長

交

當盛五歌妓

横若町のか田の



かささぎ

かきぞう
かきぞうはれんもとの候
日影さうのあうまの
さるさるをゆくとまを
はりやりのお母あはら
かきぞうはれんもとの候
かきぞうはれんもとの候
かきぞうはれんもとの候

山亭
國朝
藤後
心馬

落語家 心馬

國朝
彫長



當田盛五歌妓

柳舟のおむら

花やねの
尾上のりら
若かりん名妓
招かして
君よあめさ
さうさうき
花をさそりや
あつあつ

若や若



國貞画

彫長

父



茶丸市
吉ん
とん

天保
三年
三月
十日



小
吉ん
とん

天保
三年
三月
十日

國
周
金

人形町通
具足屋

彫
多
七



國周安

人形町通
見定屋板

紅世花



かぐや姫のまがひのゆふゝ
五
坂東夜三郎
ほり出流冠五舟



國岡 虫

彫工 多七

万丁番のや

かくやうりまがくのやまもと
 貞徳屋原松徳屋
 秀四 河原崎権十席
 送る中村馬八

山本武平

徳
 國吉
 彫太田多七
 万丁まや



新編 浮城物語

男 市村家 権
女 市村家 権
送り坂 東三八



國司 富

五丁

五丁

常行家儀

野さし部抄

水用



國岡安

彫采

山田武春



招東老三郎

地之右子



國吉

山崎

形采

瑞

南門圖

一休禪師



愷

國寺

森

坂東三郎

天八指南草月 旧岸花



國貞

吉伊勢兼

田中影牛



山石井以系若

三浦の八雲の巻

關身之丸

吉伊勢兼

田中彫牛





新選胡蝶狸猫の孫
市紅家結

國子之巻

田中彫牛

百任堂景





曲五因虫

彫安刻刀

兩國夕涼圖

三味線此
みまぢも
いぢてけし
すぢひま
おきくお
うらむ



彫安刻刀

兩國

車

酒以生小

市打

周筆

天





扇の生十一
坂東為三郎

泉影

天
周筆

天



國
周
筆
〇

昭
漢
可
銀

周
公
尚
十
取
心
善
六





沢村訥庵

三ツ嵐門

辰子八

吉澤

昭次



C.U.C.
3654

市川園藏

一休禪師



關貞無

印
等
神
校

あしつみぢり

坂東松次郎

地獄太夫

坂東三郎

國貞堂



市打家橋

男達聖兩倍即

國貞

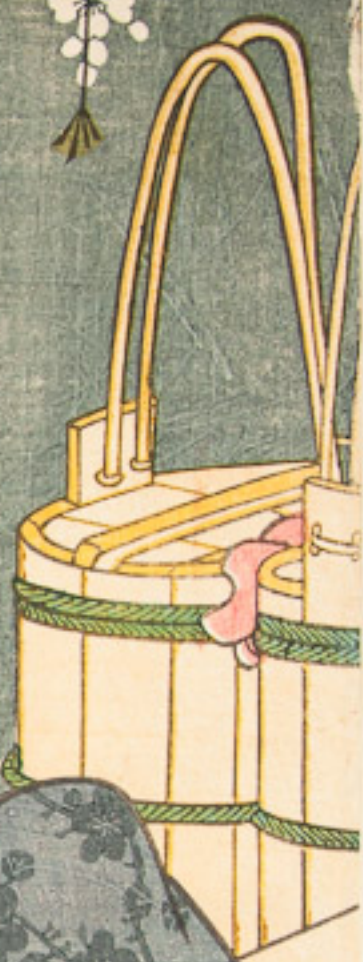
明
神
校





おきめお大

坂東三津又



園固虫
彫政

海峯録

侍合新

野々し詰助

南口為橘



西川白酒

國周出

野政

海峽

源世平

源東彦三郎



國周出

彫政

湖江二
海安林

坂東三郎

坂東三郎

國八郎

明金鹿



あしをさるる

浜行納舟



朝倉彫万

福
岡
屋
五
丸

六

浄瑠璃

忠臣蔵

三日月

早野勤平

市打家福



朝倉影万

大
團
圓
人
也

大

梅井下部紀之丞

沃打酌科



徳
國
魚
長
後



浄瑠璃忠貞三人

桃井下野忠貞

頭東三郎



國貞五

彫長

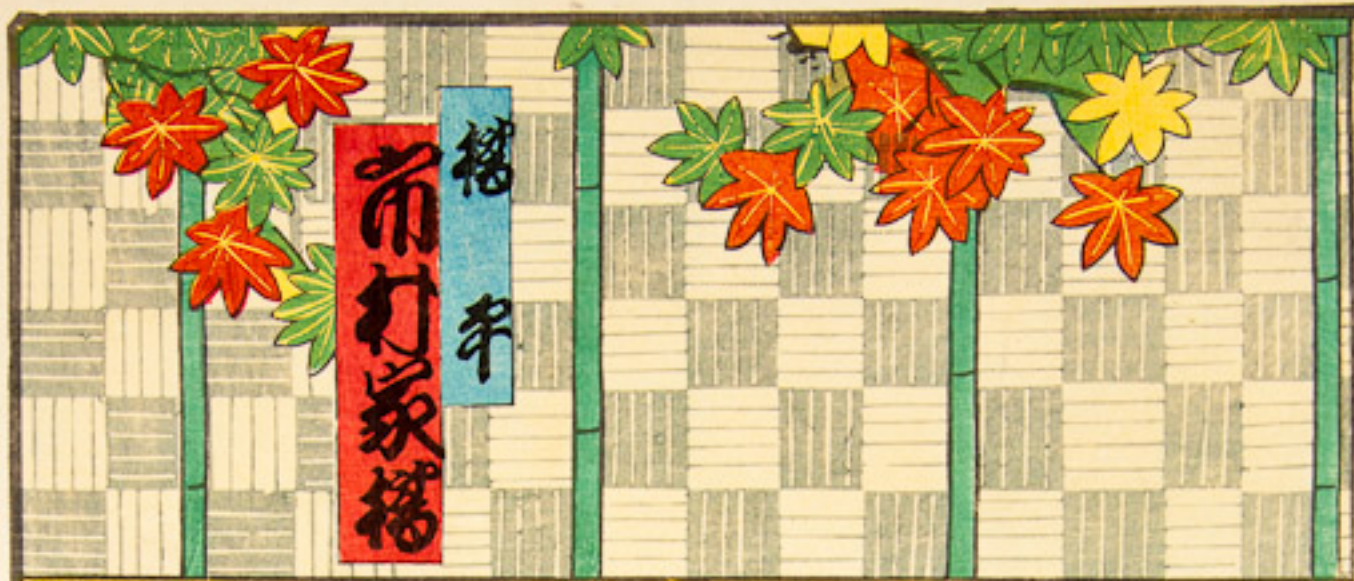
今

梅井下部橋平
市打家橋



國
石田長
徳

父



掃
帚
打
家
掃

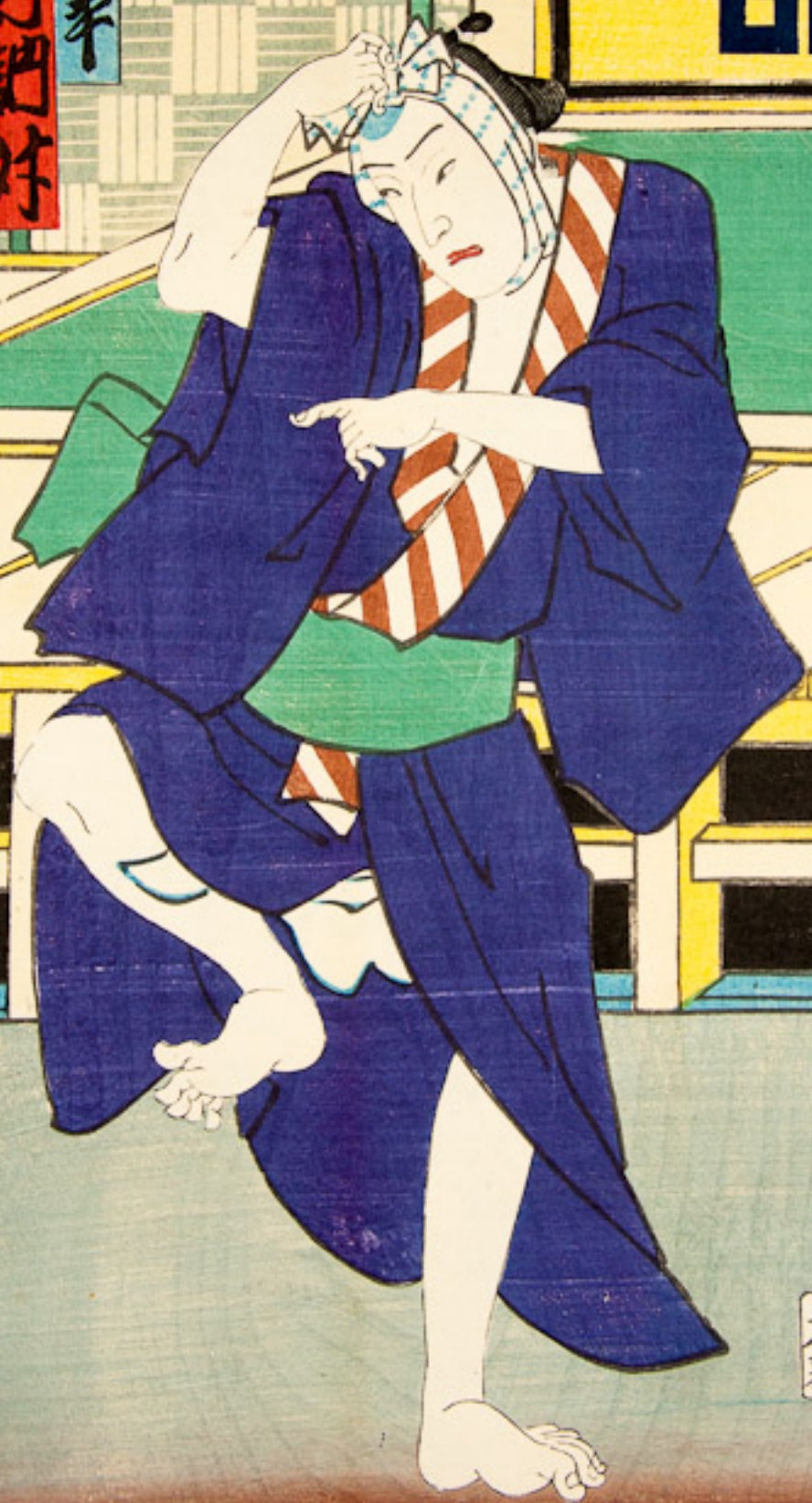


國

國
周
密

上
金
板

虎の平
浪打調対



國司
印

上金板

石橋半
忠臣蔵 二巻目
三人仕舞の場

鶴半
坂東妻三郎



國周堂

依之木之門前

源紅納外



吉伊 記

國之記



市村家徳

徳次老金剛院

百座山姥

尾上菊次郎

國貞

百伊摩

知三意之藏法太郎

坂東彦三郎



國貞

吉伊勢兼



山石井以系若

きらり

國八郎





源中 倭云
伏打調針

國
〇





浄丸瓢

中打笠

國丸



甲斐守 伊豆美濃内

關原之役

山本





山王宮板

千代の鯉屋久

國貞之五

山王宮板

山王宮板

名古卷出之
沢村鶴外



國周筆

上金板

不攸伴光惠

坂東妻三郎



源

國司筆

上金板

遊の小助則

浪東者三郎

徳

園
園
虫

森本



補姑戸姫

赤白象揚



國吉堂

本森



下部権者

常行竹松



國吉

長

補正六姫
赤口家藩



國吉
彫長

達の小山の

振東老三郎



振

國周齋

辰吉

ホリ

年若僧次

白酒賣新茶

國屋

今辻國屋



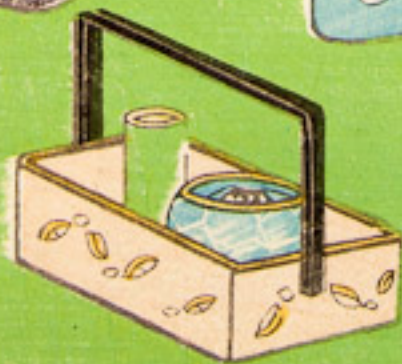
何ん

九方

水
百獸

志

黒子銀屋彦助六



國屋



全社
彫工長

魚賣網
新造志乃子
荒川庄之五



國貞
五

山猫於三

中村霧藏

八
十
三

新橋

道具屋五市

鼠
冠五郎

國
吉
島

安
北
文
藏





徳兵衛方之志

尾上菊次郎

湖邊之志

市村家橋

國司

朝倉彫万

三社文庫

去所名傳三郎

坂東彦三郎



福

國岡

朝倉彫方

三
丁
板

葛の巻

子あん平
市村家橋

國分久太郎
彫長



狐首の巻

坂東三郎



花

あつたれをさくみ

おつたれをさくみ

森

酒

正徳九年

う

安倍保名

秋田藩



國史文庫



鬼あり毒三郎

河原屋清盛千代

國輝筆

彫工長

交

土衣の御六

坂東彦三郎

妹脊の門松
坂東彦三郎
七候早稲名
相勅市印

國輝筆

彫工長

灸



圧

見帳

けんやうの善と

ぶらりやま

市川糸舟



印

交

國輝筆
彫長

進上 井双庵
鶴丸
五拾荷
黒手組親方

進上 小倉連
様家御百張
黒手組親方

牛若傳次

芳幾筆

渡辺彫栄

舎西園
七



新下

黒手組、助六

新木 五稜坂

高杉 早苗

あつ

松百

親方

進上 魚 壹網

黒手組親方



廿方幾筆

渡辺彫朱



女房の巻

本丸
諸吟

吉

其

芳幾筆

渡辺彫朱



甲子
招き



権左



國司筆
彫刻

木
増
前



浮城

岡田周筆

鹿鈴

鹿鈴

木
鹿
鈴
屋
前



娘お雲

團扇
彫工妹吉

木村
明



野田村納外

中村芝翫

奉納
神藏

靈水

大嘗會

野田村曙山

因周如

重萬善



藤八

中村見雀

市村家橋

河原崎三外

坂東志多

重萬善

重萬善

歌川

俳優英雄王子沙龍催



奉納

坂東薪水

岩井帶子

國周虫

市川桃撮

重蔵



音羽屋の彦

成駒の芝



大和屋の彦

國司華
彫工外

大和屋
彦

吉屋吉六

三好屋九藏

橘屋の羽三

國司筆
彫工外吉

全社文
三好



時惠方吉創煤拂

明石屋の友

山崎の權

おとひやまの

國周華

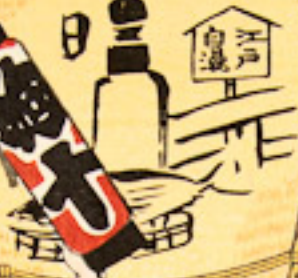
紀の國やの源



御祭禮



芳幾畫



元田彫



彫長

天王御祭禮之圖

一五番
勢幾画





松本錦介

市川米十郎

市川八百蔵

中山親十郎

市川新之助

板元
せともの町
十代目村山源兵衛正

内縁中村仲落

露彦改

坂東三郎

内縁市川團藏

内縁市川團藏

市川團藏



河原崎國太郎

尾上栄三郎

雨川元圓次

内藤沢村田之助

山岩并栄若

彦元中村聖三郎

彦元中村聖三郎

國貞之助

陸り

中村座
秀 被露
之圖



子権萬米大之町

納常磐津少安亭夫

納波打訖并

中村芝蔭

納市川新車



河系崎權十郎

守田切人郎

應國貞久

石原表

市村将左三郎

C. U. C.
3657